

地域福祉に関する意識調査

～ご協力をお願い～

町民の皆様におかれましては、日頃から町政の運営に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

太子町では、太子町社会福祉協議会と共に、みんなで地域社会を支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちをめざし、福祉の総合的な取組を進めています。

このたび、第2期太子町地域福祉計画・太子町地域福祉活動計画（平成28年度から令和2年度）の期間終了に伴い、計画を見直し新たな太子町地域福祉計画・太子町地域福祉活動計画（令和3年度から令和7年度）を策定することとなりました。

計画の策定に当たり、まず本調査を通じて町民の皆様の福祉に関するお考えやご意見をおうかがいし、計画策定の基本的な資料とさせていただきたいと考えております。ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、皆様のお考えやご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

令和2年10月

太子町

- この調査は、町内にお住まいの18歳以上の方（1,000人）を対象に実施しております。
- 回収された調査内容は、計画策定に関する目的以外に使用することはありません。
- この調査は無記名のため、個人が特定されることはありません。

《ご記入に当たって》

- ご回答は、令和2年10月1日時点の状況を、封筒のあて名のご本人が行ってください。
- ご本人がお答えになりにくい、あるいはできない場合は、ご家族の方などがご本人の立場になってご回答いただいても構いません。
- それぞれの設問について、当てはまる番号に○をしてください。
- 「その他」を選ばれた場合や最終設問の「自由記述」については、お考えやご意見を記入してください。

ご記入いただいた調査票は、**令和2年11月11日（水）までに**

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

《お問い合わせ先》

太子町 健康福祉部 福祉課（太子町役場内）

電話：0721-98-5519 FAX：0721-98-2773

★「地域福祉」とは

「地域福祉」とは、一人ひとりが地域社会の一員であることを認識しつつ、助け合い・支え合いの精神のもとに安心して暮らせるよう、「自助」・「互助」・「共助」・「公助」を包括的に連動させ、地域の福祉課題の解決に取り組むことです。

■ 「自助」・「互助」・「共助」・「公助」について

「自助」とは

日常生活において、自分でできる範囲のことは自分で行い、住民一人ひとりが豊かな生活を送るために努力すること。

「互助」とは

近隣の人との日頃の声かけや見守りをはじめ、ボランティアや住民組織での活動など、住民同士の助け合い・支え合い。

「共助」とは

介護保険、医療保険などの相互負担による社会保険制度を活用し、必要に応じて様々なサービスを受けること。

「公助」とは

税の負担による公的サービスのことで、高齢者・障がい者・生活困窮者などの生活保障や権利擁護などのこと。

■ 求められる地域福祉の姿とは？

○ 少子高齢化や家族形態の変化にともない、一人ひとりが抱える生活課題も多様化しています。これらに対応するには、個人の努力や行政による福祉サービスだけでは不十分であり、地域で暮らす住民が身近にある様々な福祉ニーズに関心を寄せ、地域全体で課題の解決に取り組むことが求められています。

○ 社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」・「受け手」という関係を超えて、地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、持続可能な地域を創造していくことが必要です。

○ 「自助」・「互助」・「共助」・「公助」を、時代に即した形で有機的・総合的なネットワークとして結び付け、そのネットワークの力によって福祉課題を解決していくことが、求められる地域福祉の姿であると言えます。



1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別をおうかがいします。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの令和2年10月1日時点の年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～49 歳 | 3. 50～64 歳 |
| 4. 65～74 歳 | 5. 75 歳以上 | |

問3 現在の家族構成についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ひとり暮らし(単身) | 2. 夫婦のみの世帯 |
| 3. 二世帯世帯(親と子など) | 4. 三世帯世帯(親と子と孫など) |
| 5. その他() | |

問4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 太子地区 | 2. 山田地区 | 3. 畑地区 |
| 4. 春日地区 | 5. 葉室地区 | 6. 聖和台地区 |

問5 あなたは太子町にお住まいになられて何年になりますか。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40～49年 | 7. 50年以上 | |



2. 地域とのかかわりについて

問 6 あなたは、現在お住まいの地域に、今後も住みたいですか。(1つに○)

1. 住みたい → 問 6-1 へ

2. 住みたくない → 問 6-2 へ

3. どちらともいえない

【問 6-1 は、問 6 で「1. 住みたい」と答えた方におうかがいします。】

問 6-1 住みたい理由は何ですか。(○は 3 つまで)

1. 土地や家があるから
2. 家族と一緒に住んでいるから
3. 近くに親族や友人がいるから
4. 交通や買い物など、生活の便が良いから
5. 子育て支援の環境や子どもの教育環境が整っているから
6. 高齢者や障がいのある人などへの福祉サービスが充実しているから
7. 保健・医療サービスが整っているから
8. 日常、近所や地域の助け合いやつながりがあるから
9. 困ったときや災害時、近所や地域の助け合いがあるから
10. 仕事のため、または、通勤・通学に便利だから
11. 今の地域に昔から住み続けているなど、地域に愛着があるから
12. その他 ()

【問 6-2 は、問 6 で「2. 住みたくない」と答えた方におうかがいします。】

問 6-2 住みたくない理由は何ですか。(○は 3 つまで)

1. 近くに親族や友人がいないから
2. 交通や買い物などで生活が不便だから
3. 子育て支援の環境や子どもの教育環境が整っていないから
4. 高齢者や障がいのある人などへの福祉サービスが充実していないから
5. 保健・医療サービスが整っていないから
6. 日常、近所や地域の助け合いやつながりがないから
7. 困ったときや災害時、近所や地域の助け合いが期待できないから
8. 仕事や通勤・通学に便利でないから
9. 今の地域に愛着がないから
10. その他 ()

問 7 あなたは、ふだん近所や地域の人とどのようなつきあいをしていますか。

(1つに○)

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1. 日常から親しくつきあいをしており、困ったときに助け合える | |
| 2. たまに立ち話などをする程度のつきあい | |
| 3. 会えばあいさつする程度のつきあい | →問7-1へ |
| 4. つきあいはほとんどしていない | →問7-1へ |

【問7-1は、問7で「3.」または「4.」と答えた方におうかがいします。】

問7-1 近所や地域の人とのかかわりについて、今後どうしていきたいですか。

(1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 積極的にかかわっていきたい |
| 2. どちらかといえば、かかわっていきたい |
| 3. あまりかかわりたくない |
| 4. まったくかかわりたくない |

問 8 あなたは、自治会や地域活動に参加・協力していますか。

(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よくしている | 2. ある程度している |
| 3. あまりしていない | 4. まったくしていない |

問 9 あなたは、地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことが必要とお考えですか。

(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 家庭・学校・職場などで、助け合いや支え合いのこころを育むこと |
| 2. 日頃から近所や地域で助け合える信頼関係を築くこと |
| 3. 地域の人同士が交流できるイベントなどを、行政や社協が支援すること |
| 4. 介護やボランティア活動の方法などの研修を、行政や社協が行うこと |
| 5. 地域にボランティアなどの活動拠点や組織を整備すること |
| 6. 若者や子育て世代が地域に住み、地域活動にも積極的に参加してくれること |
| 7. その他 () |

問 1 0 近所や地域のつきあいやかかわりにおいて、困っている方がいれば手助けしたいと思うのは次のうちどれですか。（すでにされていることがあればそれも選んでください） **（当てはまる番号すべてに○）**

1. 高齢者や障がい者宅などのゴミ出しなど
2. 子育て家庭の子どもを一時的に預かること
3. 高齢者や一人暮らしの方などの話し相手や相談相手になること
4. 独居高齢者宅などへの日常の安否確認や見守り
5. 買い物の代行
6. 買い物や病院への送迎
7. その他（ ）
8. 特にない

問 1 1 あなたは、近所や地域のつきあいの中で、手助けしてほしいことはありますか。 **（当てはまる番号すべてに○）**

1. 家事や身の回りのことを手伝ってほしい
2. 子どもを一時的に預かってほしい
3. 話し相手や相談相手になってほしい
4. 家族などの介護を手伝ってほしい
5. 日常の安否確認や見守りをしてほしい
6. 買い物の代行をしてほしい
7. 災害時の安否確認や手助けをしてほしい
8. 買い物や病院への送迎をしてほしい
9. その他（ ）
10. 特にない

3. 福祉について

★「福祉」とは

特定のだれかだけでなく、みんなが幸せになれるような取組や活動を言います。

問 1 2 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。

(1 つに○)

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------|-----------|
| 1. とても関心がある | →問 12-1 へ | 2. やや関心がある | →問 12-1 へ |
| 3. あまり関心がない | →問 12-2 へ | 4. まったく関心がない | →問 12-2 へ |

【問 1 2-1 は、問 1 2 で「1.」「2.」(関心がある)と答えた方におうかがいします。】

問 1 2-1 「福祉」のどの分野に関心がありますか。(当てはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 子どもに関すること |
| 2. 高齢者に関すること |
| 3. 障がい者(児)に関すること |
| 4. 生活困窮者(就労や収入、住まいなどに困っていて支援が必要な人)に関すること |
| 5. 上記「1.」～「4.」以外の支援を要する人に関すること |
| 6. ボランティア活動に関すること |
| 7. その他() |

【問 1 2-2 は、問 1 2 で「3.」「4.」(関心がない)と答えた方におうかがいします。】

問 1 2-2 「福祉」に関心がないのはなぜですか。

(1 つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 福祉を身近に感じないから |
| 2. 福祉は国や府、市町村といった行政の責任で行うべきだから |
| 3. 福祉の内容や具体的な支援がよくわからないから |
| 4. その他() |

問 1 3 「福祉」による支援はどうあるべきだと思いますか。

(1 つに○)

- | |
|---|
| 1. 国や府、市町村といった行政の責任で行うべき |
| 2. 社会福祉法人や地域のボランティア、住民が協力しながら、地域で支え合うべき |
| 3. 自分の家族や親族で支えるべき |
| 4. その他() |

問 1 4 あなたは、今までに福祉に関するボランティア活動に参加したことがありますか。 (1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 現在、参加している | →問 14-1へ |
| 2. 以前、参加したことがある | →問 14-1へ |
| 3. 参加したことがない | |

【問 1 4-1 は、問 1 4 で「1.」「2.」(ボランティア活動に参加)と答えた方におうかがいします。】

問 1 4-1 あなたは、どのようなボランティア活動にかかわっています(いました)か。 (当てはまる番号すべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 子どもに関する活動 |
| 2. 高齢者に関する活動 |
| 3. 障がいのある方に関する活動 |
| 4. 生活困窮者に関する活動 |
| 5. 地域づくりに関する活動 |
| 6. スポーツ・文化・レクリエーション・生涯学習に関する活動 |
| 7. 健康づくりや栄養・食生活に関する活動 |
| 8. 青少年の健全な育成に関する活動 |
| 9. 環境美化活動 |
| 10. 防災・防犯に関する活動 |
| 11. 災害ボランティア活動 |
| 12. その他 () |

問 1 5 あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 是非、参加したい | 2. 友人などが一緒なら参加したい |
| 3. 時間があれば参加したい | 4. 参加しない |

4. 不安や悩み、相談先について

問 1 6 あなたご自身が不安に思っていることや悩んでいることはありますか。

(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 日常の金銭管理 | 2. 身体的なこと（病気や障がいなど） |
| 3. 契約のこと（サービス利用など） | 4. 家や土地などの財産管理や処分 |
| 5. 相続や遺言 | 6. 自分の身の回りの世話 |
| 7. 自身や家族の介護のこと | 8. 地域での人間関係 |
| 9. 仕事に関すること | 10. 子育てや教育のこと |
| 11. 日常の交通・移動手段のこと | 12. 経済的なこと（世帯の収入など） |
| 13. その他（ | ） |
| 14. 特にない | |

問 1 7 あなたは、悩みや不安があるときにだれ（どこ）に相談しますか。

(当てはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------------------|----------------|--------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 近所の人 | 3. 友人 |
| 4. 職場の人 | 5. 医師・看護師 | 6. 介護サービス事業所 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 役場の相談窓口 | 9. 社会福祉協議会 |
| 10. 保健センター | 11. 地域包括支援センター | |
| 12. その他（ | | ） |
| 13. 相談できる人や相談先はない | 14. 相談しない | |

問 1 8 お住まいの地域について、どのようなことを不安・心配に思っていますか。

(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 少子高齢化の進行 | 2. 交通・移動手段が不便なこと |
| 3. 自治会や地域活動への参加者の減少 | 4. 地域の担い手不足 |
| 5. 近所や地域のつきあいの減少 | 6. 空き家の増加 |
| 7. ひとり暮らし・高齢者世帯の増加 | 8. 緊急・災害時の体制 |
| 9. 世代間交流の減少 | |
| 10. その他（ | ） |
| 11. 特にない | |

5. 災害への備えや災害時の対応について

問 19 あなたは、地震や風水害、火災などの災害に対して、どのような備えを行っていますか。
(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|---------------|
| 1. 家具などの転倒防止 | 2. 避難場所や経路の確認 |
| 3. 災害時に必要な食料・飲料の準備 | |
| 4. 災害時に必要な備品（ラジオ・懐中電灯・携帯コンロなど）の準備 | |
| 5. 地域の防災訓練などへ参加すること | |
| 6. 災害時の連絡方法や集合場所などを家族・親族で話しあうこと | |
| 7. 近所や地域における助け合いの方法や要配慮者 ^(※) を確認すること | |
| 8. 常日頃から、テレビ・新聞などで災害対策の情報を得ること | |
| 9. ハザードマップなどで居住地域がどれくらい危険なのかを確認すること | |
| 10. その他（ | ） |

※「要配慮者」とは？

高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など、災害時において特に配慮を要する人のことです。

問 20 あなたは、ご自身が災害にあわれたとき、主にだれ（どこ）を頼りにしますか。
(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 近所の人 |
| 3. 友人 | 4. 自治会などの地域組織 |
| 5. 役場 | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 消防署・消防団 | 8. その他（ |
| 9. 頼りにする人や頼りにできるところはない | ） |

問 21 あなたは、ご自身が災害にあわれたとき、どのようなことを不安・心配に思いますか。
(○は3つまで)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 家族・親族のこと | 2. 近所の人や友人のこと |
| 3. 近所の要配慮者のこと | 4. 発生した災害に関する情報 |
| 5. 避難所での生活 | 6. 所有する家・自動車・山林・田畑など |
| 7. 避難所などへの避難経路 | 8. 災害に対応できる知識 |
| 9. その他（ | ） |

6. 福祉に関する制度やしきみについて

(1つに0)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 制度も内容も知っている | 2. 制度は知っているが内容を知らない |
| 3. 制度も内容も知らない | |

※「成年後見制度」とは？

認知症、知的障がい、精神障がいなどの方は、財産を管理したり契約を結んだりする際、自らの判断で行うのが難しい場合があります。このような判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度の事です。

問 23 次の名称や内容についてご存じですか。(当てはまる番号それぞれに○)

質問	名称も内容も知っている	名称は知っているが内容は知らない	名称も内容も知らない
ア. 地域包括ケアシステム	1	2	3
イ. 生活困窮者自立支援制度	1	2	3
ウ. 社会を明るくする運動	1 ⇒ ※ 問 23-1 も ご回答ください	2	3
エ. 地域共生社会	1 ⇒ ※ 問 23-2 も ご回答ください	2	3

【問23-1は問23「ウ。」で「1 名称も内容も知っている」に○を付けた方のみ】

問 23-1 再犯防止に必要な取組は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 犯罪をした人を支援する相談窓口を充実すること
2. 犯罪をした人が、仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと
3. 犯罪をした人が、就業できるように学習支援や資格取得の支援を行うこと
4. 犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をすること
5. 犯罪をした人が、刑期を終えた後などに住むことができる場所を提供すること
6. 社会の一員としての自覚を高めるため、犯罪をした人にも地域活動やボランティア活動に参加してもらうこと
7. 犯罪をした人への支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作ること
8. 住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする
9. その他（ ）
10. 特になし

【問23-2は問23「エ。」で「1 名称も内容も知っている」に○を付けた方のみ】

問23-2 「地域共生社会」の実現に向けて、必要な取組は何ですか。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 地域包括ケアシステムの推進・拡充
2. 共生型サービスの推進・拡充
3. 各地域における福祉に関する課題の共有
4. 本人・世帯の属性や状況にかかわらず受け止める「断らない相談支援体制」の構築
5. 本人・世帯の状態に合わせた就労支援、居住支援など、社会への参加支援
6. 多世代交流や多様な活躍の機会や役割を生み出す地域づくり・支援
7. 個人や世帯が抱える複雑で多様化した課題を制度の狭間に落とさない取組
8. その他 ()
9. 特にない



7. 福祉に関する情報や施策全般について

問 2 4 あなたは、福祉に関する情報をどこから入手していますか。

(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 役場の窓口や広報誌・お知らせ | 2. 社会福祉協議会 |
| 3. 町内会・自治会の役員や回覧板 | 4. 家族・親族 |
| 5. 近所の人や友人など | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 医療機関・介護従事者 | 8. 新聞、テレビ、ラジオ |
| 9. 書籍や雑誌 | 10. インターネット |
| 11. その他 () | |
| 12. 特に入手していない | |

問 2 5 あなたは、福祉についてどのような情報を知りたいとお考えですか。

(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1. 福祉や健康全般について |
| 2. ひきこもりなど社会的に孤立しがちな人への支援 |
| 3. 生活困窮者への支援 |
| 4. 上記「1.」～「3.」の相談窓口 |
| 5. 子どもへの支援や福祉サービス |
| 6. 高齢者や障がいのある人についての支援や福祉サービス |
| 7. 介護保険制度について |
| 8. 介護や福祉に係る事業所などのサービス |
| 9. ボランティア活動や、非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う住民団体の活動 |
| 10. 地域で交流ができるサロンや集いの場 |
| 11. 健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室） |
| 12. 成年後見制度について |
| 13. 再犯防止について |
| 14. その他 () |
| 15. 特にない |

問 2 6 みんなで地域社会を支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちを実現するために、行政や社協に対して特にどのような施策や取組を行ってほしいとお考えですか。 (当てはまる番号すべてに○)

1. 在宅福祉サービスの充実
2. 施設サービスの充実
3. 相談窓口や相談員の充実
4. ボランティアコーディネーターや生活支援コーディネーターなどの人員の拡充
5. 福祉に関する情報提供の充実
6. 手当や助成など、住民に対する経済的支援の充実
7. 施設や交通機関などにおけるバリアフリーの推進
8. 日常の交通や移動手段の確保
9. 地域活動や地域福祉活動への公的支援の充実
10. 地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成
11. 地域の方がどなたでも気軽に集い交流できる場の整備
12. 健康づくりや生きがいづくりの場の提供
13. 住民同士の活動や交流が活発になる施策や支援
14. 福祉に関する教育や研修の場の提供
15. 災害に備えた体制の整備と住民の防災意識を向上させる場の提供
16. その他 ()
17. 特にない

【問 2 7 は「65 歳未満の方」のみにおうかがいします。】

問 2 7 あなた自身が高齢者（65 歳以上）になったとき、身体が元気であれば地域における福祉活動にかかわりたいと思いますか。 (1 つに○)

1. 積極的にかかわりたい
2. 自分の時間を大切にしながら、できる範囲でかかわりたい
3. あまりかかわりたくない
4. まったくかかわりたくない

問 2 8 福祉に関する次の項目についてどのようにお考えですか。

(当てはまる番号それぞれに○)

項目	はい	いいえ	どちらでもない
ア. 日頃から、近所や地域で助け合いや支え合いを行うべきだ。	1	2	3
イ. 災害時や緊急時には、近所や地域で助け合いや支え合いを行うべきだ。	1	2	3
ウ. 地域への関心や参加意識を高めるため、地域の福祉課題や活動などの情報を共有すべきだ。	1	2	3
エ. 地域の福祉活動は、他人事ではなく「我が事」として積極的に参加すべきだ。	1	2	3

問 2 9 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」のためにはどのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えやご意見をご自由にお書きください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れていただき、令和2年11月11日(水)までに
郵便ポストにご投函ください。(切手は必要ありません)

